

[委]:常滑市教育委員会 【知】:知教労

1 県の「教員の多忙化解消プラン」に基づく多忙化解消の具体化について

ア)長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化

①各教員の在校時間の「見える化」を

【知】どのような取り組みをしているのか。

[委]在校時間を一覧表にして、現状把握、他校との比較などをして働き方の把握に努めている。産業医を希望する場合、氏名を報告してもらっている。

6月の調査を踏まえ、職員の方の健康状態を見ること、業務の効率化を図り長時間の勤務にならないような環境づくりに尽力して欲しいことを各校長に伝えた。常滑市はC4thがあるので、業務の効率化のために活用してほしい。

【知】その取り組みが職員に知らされていない。取り組みの「見える化」が校長止まり。新任者や講師へ働き方、産業医の役割等のレクチャーがない。鬼中は校内衛生委員会で働き方の話をし、その衛生委員会の内容は全職員に知らせている。勤務時間の記録が義務であり、働き方を変えることが大切だと分かってくればお互いに注意をし合うような職場にもなるはず。今一步の働きかけを。

[委]鬼中の方法を聞き、教頭会でも話して広めようとしている。職員の健康のためにも進めたい。

②出退勤時刻把握義務の周知

【知】記録簿の計算式で、休憩が取れていないのに在校時間から8時間30分を引いて超過勤務時間を計算する学校もあるようだ。1ヶ月で17時間程度は超過時間が少なく計算されてしまう。正確な記録になるように指導をして欲しい。

[委]全職員が共通理解するよう話していきたい。

③労働時間の適正な把握のためのタイムカードやICカードの導入

[委]今のところ導入予定はないが、C4thの拡張機能

を使う方法と市販のソフトを使う方法で価格比較して検討はしている。予算が伴うものなので、導入時費用+4年間維持にいくら必要かなど試算をしている。

【知】ICカードをかざす、パソコンを立ち上げたり終了したりの時間を記録するなどのものもあるらしいが。現在のような、記録簿の回収の手間は省ける。記録をコピーしていると思われる人もいるがそれも防げる。

[委]導入したが使い勝手が悪い、ということがないように検討している。

③割振り簿の適正な運用、割振りの取得推進

【知】1学期は割振りが多すぎて夏休みでも消化できない実態がある。労働管理全体に課題ありといえる。大野小は記録簿はあるが、記載がない。常中・南陵中は時間割編成に割振りが無い。各学校の裁量とはいえ、横並びであって欲しい。見比べて指導して欲しい。

[委]名前の挙がった学校は気をつけてみていきたい。

【知】申請すればつけるという形になっているとよい。割振りを使わせることが多忙化解消にもつながる。

[委]割振りは適正であることが大切。校長会で伝えていきたい。

④産業医による面接指導の実施

[委]常滑市は産業医(常滑市民病院内科部長)との連絡・調整の体制はできている。

【知】(情報公開で集めた)記録によると月100時間越えの人が大勢いる。元気だからいいという感覚でいるのが現状。(鬼中は)校医さんの巡回相談で話したからいいかという人もいる。しかし、100時間越えたら産業医にかかるという雰囲気を作るとよい。産業医も記録を元に、校長に対して長時間労働が多いからなんとかしなさいと勧告すればよいがやれていない。職員ももっと気楽に産業医にかかるようにしたらよい。校長・教頭で勤務時間の記録が出ていない学校が4校ある。マネジメントとはという指導・研修をし

て欲しい。

[委] 具体的にはなっていないが、市全体でやっていきたい。

イ)業務改善に向けた学校マネジメントの推進

【知】市町村教委、また、各学校で業務改善方針をもつというのが「プラン」に載っているが進み具合は。

[委] トップダウンというわけにもいかない。校長会とも話し合って体制づくりをしたい。

【知】具体化を急いでいただきたい。

[委] 現場の声を聞きながら取り組みたい。

ウ)部活動指導に関わる負担の軽減

①部活動の量的制限[朝部活の廃止・土日活動の制限]

[委] 中学校中心に検討中。幾つかの取り組みがすでにされている。朝部なし期間の設置。ヘルシーデーの部活中止。部活顧問とは別に、外部指導者の依頼等。部活が負担をかけていることは確か。負担軽減に向けて取り組んでいきたい。

【知】(市内中学校は)文科省から出ているラインが守られているか。

[委] 各学校、努力目標としてやっているはず。

【知】常滑市は小学校の特業手当支給が多い。1回の金額を増額して、代わりに1ヶ月3回まで等制限をすれば総額は減るのでは。対外試合も制限する。

部活が減れば長時間労働も減る。改善のルールを明確化し、PTAや子供に周知して欲しい。

②部活動の在り方の改変[教師全員顧問制の廃止、教員表彰の廃止]

[委] 教職員表彰廃止とは。

【知】県大会出場した部の顧問を表彰していること。表彰されることで、それをよしとして、部活動指導に拍車がかかる。

[委] 意見として聞いておく

【知】小学校の部活は学校任せか。

[委] 学校ごとのガイドラインを作成して取り組んでいるはず。

【知】試合に勝つため練習が増えていく。小学校共通

のガイドラインを作って欲しい。

[委] 横のつながりを見て作成し、市内各学校に反映していきたい。

エ)業務の縮小・負担の軽減

[委] 業務縮小は、学校の中で工夫して欲しい。

【知】職場体験はやらなくても良い。店側で「断りたいができない。」といていた人もいた。何か体験をさせたいということなら、自由度を上げて欲しい。

[委] 検討する。

2. 労働条件・教育条件の改善について

【知】「パワハラ防止指針」をきちんと配付してほしい。

[委] 4月に校長に伝えている。

【知】校長止まりになって配付はされていない。毎年配付するように指示して欲しい。

最後に

【知】教育委員会が校長会で伝えても、校長がやらないことがある。学校でも子供がやっているか確認し、やれていないならできるように指導する。それが教員としてのプロの仕事。同じことが教育委員会と校長会にあてはまるのでは。やっていない校長がいたらやるように指導するのが教育委員会の仕事だと思うので、伝えたことをやらせて欲しい。現場はあまり変わっていない。

これは県が言っているマネジメント。校長のマネジメント力を期待したい。

[委] 先生方が気持ちよく働くことが子どもたちの幸せにつながると思っている。

常滑市:加藤宣和教育長、山崎巖生教育部長、中野直樹学校教育課長、佐藤茂樹指導主事

知教労:岩澤弘之、池田博、中沢晶子